

はじめに



甲府市は、甲府盆地の中央を南北に縦断し、北に八ヶ岳、南に世界文化遺産の富士山、西に南アルプス連峰の山々に囲まれ、市内には秩父多摩甲斐国立公園の金峰山を源流とする荒川が流れ、その上流に国内屈指の渓谷美を誇る御岳昇仙峡を有するなど、美しく豊かな自然に恵まれた魅力あふれるまちであります。

さらに歴史も古く、永正16年（1519年）武田信玄の父信虎が、つつじが崎に館を築いてから、平成31年に開府500年を迎え、重層的な歴史とともに、山梨の政治、経済、交通、文化の中心として発展してまいりました。

この恵まれた自然豊かな環境や本市固有の歴史などの地域資源を最大限活かすには、より一層魅力あふれるまちづくりに取り組んでいく必要があります。

また、近年、便利で快適な暮らしに伴い、これに起因する環境問題が顕在化するなか、市民の環境に対する関心が高まってきており、緑豊かで潤いのある生活環境の形成が求められております。

このようなことから、本市における緑のまちづくりを総合的かつ計画的に実施するため、その指針となります「甲府市緑の基本計画」を策定いたしました。

本計画では、「人と自然と歴史がきらめく、緑あふれる ふるさと甲府」を基本理念に掲げ、受け継がれた緑を大切な財産として守りながら、新たな緑の歴史を紡ぎだし、効果的な緑のネットワークを図るなかで、ふるさとを誇りに語れることのできる緑づくりの取り組みを市民・事業者・行政が力を合わせて共に進めて行くことを目指しています。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なご尽力を賜りました甲府市緑の基本計画策定委員会委員の皆さまをはじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成26年3月

甲府市長 宮島 雅展